喧嘩三部作を目論んでいる。その第一弾が、これである。第二弾は「め組の喧嘩」はまだ決ってはいないが、闇市、第三弾、パンパン、愚連隊、仁義なき戦い、そんな喧嘩になりそうで。特攻帰り、第一弾の喧嘩は江戸と明治の喧嘩である。それが、「團十郎と音二郎」の喧嘩はいったい人がいたが、なぜ團十郎と音二郎になるのかよくわからないそのの人は喧嘩を知らないで、それに人が、ゆえに、劇は、おしなべて、すべからく、そもそも喧嘩は口での宣伝、一口の華なのであるし、ばやく喧嘩で成り立っている。それは歌舞伎がそうであるし、人である。川上音二郎らの壮士たちによる即興芝居の喝采をするのである。そして、その喧嘩は立場によって善が悪にもそうであった。ある。そこに喧嘩がある。その毒舌は社会になり悪は善になるのであるいき芸といわれるようになる。芸になったもの。喧嘩は毒の華をなくした芸だけはできないのであって、わが劇団もこの公演もプロデュース公演ということで受けいれられた時に甘言となってしまった。これでいい、喧嘩は喧嘩は無頼から喧嘩をふっかけられて逃げるか黙るしかなくなる。なるべく早く損ばかりして新宿に雌伏して三年、またぞろ派手な喧嘩をやりそうな気配だ。ここ数年、助っ人もいい面附の面々である、はじめたが諸般の都合で頓座し、わが劇団の公演になってしまった。喧嘩は嫌いなのである。おめおめと責任の所在だけはやっきりさせていなくれ。助っ人もいい面附の面々である、おめおめと、これだけの役者を揃えて、るのは江戸っこだけで感ない。おいて、退けるものが。。。。。。。。

●15周年を記念して、さらなる飛躍のために劇団「空間演技」では

劇団員　研究生
文芸演出部
スタッフ

を一般より公募しております。
写真、履歴書を下記までお送り下さい。

劇団「空間演技」電話03-205-1769
〒160 新宿区歌舞伎町2-8-2

祝公演

東京堂画廊

〒104 東京都中央区銀座1-8-20
片桐ビル5F
電話03-564-3561(代)

劇園座公演 1986年11月
新装 新宿もりえーる
岡部耕大書き下ろし作品
「刺客(テロリスト)たちの傳説」
作/岡部耕大　演出/藤原 進

われは知る、テロリストの悲しき心を……
狙うは江戸城！家康の首ひとつ！
十三人の忍者が走る!!
世紀末の刺客たちの存在を問う。
岡部耕大の問題作を劇園座が
総力を結集して世に問う。

劇園座
杉並区高円寺北3-21-19
ライオンズプラザ206
TEL<336>9601